

## 檜山沖の資源回復を願って! 熊石地域マリンビジョン推進協議会 ニシン稚魚の放流式

5月22日、熊石漁港で、熊石地域マリンビジョン推進協議会によるニシン稚魚の放流式が行われました。かつてニシンの豊漁で繁栄を誇った檜山沖の回復を目指そうと、せたな、八雲、乙部、江差、上ノ国、奥尻の日本海沿岸6町でニシン稚魚の放流が順次行われており、この日は熊石・相沼保育園の園児25名により、体長6cmほどの稚魚16万6千匹が放流されました。はじめに檜山南部地区水産技術普及指導所の職員からニシンの生態などについての説明があり、続いて、園児一人ひとりが海面まで渡したパイプの上に、順番に稚魚を放し、「元気に大きくなって帰ってきてね」と手を振っていました。



## 大切なのは生きがいづくり、体力づくり、仲間づくり! 平成30年度熊石生きがい 学習塾開校式特別講演会

5月22日、ふれあい交流センターくまいし館で、熊石生きがい学習塾の開校式が開催され、町民約40人が参加しました。今回は開校式に合わせ、ノルディックウォーキングの第一人者である藤田隆明氏を招いて、「笑顔で生涯自立歩行を目指す!椅子に座ってできるポールストレッチング」と題し、特別講演が行われました。講演では、東日本大震災の被災地での7年間にわたるノルディックウォーキングによる健康支援活動の経験から、生きがいづくり、体力づくり、仲間づくりの重要性を訴えました。続いて、参加者はノルディックウォーキングのポールを使って、関節をほぐして可動域を広げるストレッチなどを学びました。



## 運動会で地域を一つに! 関内町内会主催 ふれあい運動会

6月9日、旧関内小学校体育館を会場に地域住民をはじめ、域学連携で交流のある札幌大谷大学の学生ら約60人が参加し運動会が行われました。

毎年この時期は関内小学校の運動会が行われていましたが、昨年の春で同校は閉校となり、今まで地域ぐるみで行なってきた運動会が無くなってしまうのは寂しいと、町内会が主体となって、室内競技を中心とした運動会を昨年から行っています。関内地区はその昔、関所があったとされることにちなんだ「関所破りじゃんけん」のほか、「ロープでリレー」など、ユニークな9種目が行われ、お互い交流を深めながら楽しいひと時を過ごしました。



## 豊かな森と海を育てよう! 八雲町植樹祭

5月26日、春日地区町有林にて八雲町植樹祭が開催されました。晴天のもと、子ども32名を含む159名が参加し、町有林0.50haにクリーンラーチ1,250本を植樹しました。

また、木育の一環として、鳥のさえずりのように聞こえる「バードコール」づくりの体験も行われ、子どもたちに人気を集めました。

今年は家族連れの参加が多く、参加者は豊かな森が育ち、未来も緑豊かな八雲であることを願い、額に汗をかきながら1本ずつ丁寧に植えました。

